



# あげしお

令和5年9月29日

鷹南学園

三鷹市立第五中学校

校長 鶴崎 靖二

◇学校教育目標◇

- ・進んで考える人
- ・情操豊かな人
- ・心身ともに健康な人

～「あげしお」物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

ホームページ <http://www.mitaka-schools.jp/gochu-jhs/>

## 「なぜ学ぶことが必要なのか」

-9/25(月)朝礼講話より-



学校HPリンク

校長 鶴崎 靖二

(前略)

今日は「なぜ勉強するのか」という話をしたいと思います。

さて、君たちは勉強を何のためにしていますか。テストの点数を取るためでしょうか。それとも高校や大学に進学するためにするものでしょうか。はたまた、親や先生が「勉強しなさい」と言うからですか。

日本の教育は、憲法26条の「すべて国民は法律の定めるところにより、その能力に応じて、等しく教育を受ける権利を有する」に則っています。よく、「義務教育」という言葉を聞きますが、これは君たちが「教育を受ける義務」があるわけではありません。義務は憲法26条の②で、親に課せられたものです。

義務とは、「必ず果たさなければならない使命」であり、権利は「自分の意志によって、自由に行動したり、他人に要求できる資格」のことです。君たちがもっているのは、「教育を受ける義務」ではなく「教育を受ける権利」なんです。ここ今日の話の肝・重要です。

先生は何のために勉強するのかについて、こう考えています。

それは、「人生を豊かにして、幸せに生きるため」です。

先生の教科は美術だけど、実は音楽が好きでピアノも弾くし、料理が大好きで休日はいろんな料理に挑戦しています。他にもバイクが好きでツーリングに行ったり、自分のバイクや車は可能な限り自分で整備しています。また、理科が子どものころから大好きで、星空を見たりするのが好きです。歴史も大好きで、歴史の本をよく読みます。昔から好奇心が強くて、趣味が多いのです。

「私の将来の仕事には数学は必要ない。」とか「文系に進学するから理科は必要ない」などという話を時々耳にすることがあります。でも、そうでもないんですよ。

例えば、国語の学習を通して、伝える力(表現力)や理解する力(読み取る力)、推察する力(考える力)が培われます。

数学の学習を通して、「答えを導くための論理的な思考」、「正しい答えを追求するための粘り強さ」が培われます。

英語ができれば、コミュニケーション能力(話す力・聞く力)が育ち、世界にお友達ができます。

理科は、身近な世界の不思議を解き明かしてくれます。

社会は世の中の仕組みを知り、先人の生き方から学ぶことができます。

すべての教科には、学習を通して培われる能力が備わっています。そして、学びを通して様々な能力を培っていくことが、いずれ君たちの「人生を豊かにして、幸せに生きる」という大樹を支えるための根っこを大きく伸ばしていくことにつながるのだと思います。

勉強を英語で「study」と書きますね。このstudyの語源は、ラテン語の「studium」です。意味は、「熱意を持つ」「没頭する」です。ですから、私にとって多くの趣味は「熱意をもって没頭する学び」でもあるのです。その礎は学校の勉強で培われた能力にほかなりません。

人間は生きている限り、一生学びがあります。学校の学びを通して、これから先の人生を彩る様々な能力を身に付けてください。

「人生を豊かにして、幸せに生きる」ために、主体的に、そして熱意をもって取り組んでほしいと願っています。

